

- ▶ 太田市では、森林環境譲与税の創設を契機に、公共施設等への木材利用および森林整備に取り組んでいく方針。
- ▶ 令和2年度においては、群馬産材（杉・檜）を活用し、多くの市民が利用する公共施設へ木製品を設置することで、木材利用と森林整備の結びつきについての理解を促した。
- ▶ 令和3年度においては、市本庁舎木材スツール整備事業および、八王子丘陵における森林整備事業を実施予定。

## □ 事業内容

### 1 道の駅おおた県産材製品（テーブル・イス）購入

- ・ 道の駅おおたに、県産材を利用したベンチテーブル等を設置。

【事業費】691千円（うち譲与税691千円）

【実績】木材使用量2m<sup>3</sup>

ベンチテーブル2台、子供用テーブル1台、子供用イス8脚



(1) 子供用テーブル・イス



(2) 県産材表記プレート



(3) 群馬県産の杉を使用したベンチテーブル

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・ 県産材を活用した製品を「道の駅おおた」に置き、施設の利用者が県産材に触れ木のぬくもりを感じられる機会を設けることで、県産木材のPRにつなげ、県内の森林の整備および林業の活性化に向けて、県産木材のさらなる利用促進を図ることができた。

## ◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	18,544千円
②私有林人工林面積（※1）	393ha
③林野率（※2）	5%
④人口（※3）	219,807人
⑤林業就業者数（※3）	11人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より